

1 日 時 平成29年2月23日(木) 15:30～16:30

2 場 所 学校給食センター会議室

3 出席状況 出席者:10名 欠席者:3名 事務局3名

4 傍聴者 なし

5 次 第

(1) 報告事項

①給食食材の放射能検査結果について(資料No.1)

(2) 協議事項

①平成28年度中学校給食実施計画(案)について(資料No.2)

(3) そ の 他

①地場農産物の統一献立の取組みについて

②成人式「なつかし給食」の実施について

③地場農産物の導入体制について

④近隣市の学校給食に起因する集団食中毒について

議 事 要 録

所長 ただ今より、第3回学校給食共同調理場運営委員会を開催いたします。はじめに、委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は今年度最後の委員会となります。これまで話し合ってきたことも踏まえ有意義な会となりますようご協力をお願いいたします。

所長 ありがとうございました。これより、議事は委員長の進行で進めさせていただきます。

委員長 それでは、次第に沿いまして進めてまいります。
まず、報告事項として(1) 給食食材の放射性物質の検査結果について、事務局よりご説明願います。

所長 給食食材の放射性物質の検査結果について説明いたします。資料No.1をご覧ください。

放射能検査は、毎月5品目の食材を選定し、実施しております。資料は10月分から1月分までの検査結果を記載しております。結果につきましてはいずれも不検出となっております。

今後も引き続き、給食食材の安全確保のため、検査を継続してまいりたいと考えております。なお、毎月の検査結果については、市及び給食センターのホームページで公開しております。また、併せて、給食食材の予定産地や献立なども給食センターのホームページで公開しておりますので、多くの方にご覧いただければと思います。

委員長 本件につきまして、何かご質問等がありますか。

質疑無し

委員長 特にご質問ご意見等無いようでしたら協議事項に移ります。平成29年度中学校給食実施計画(案)について、事務局から報告をお願いいたします。

所長 お手元の平成29年度中学校給食実施計画(案)についてご覧ください。

給食実施期間は、平成29年4月10日(月)から平成30年3月22日(木)までを予定しております。

3年間標準給食回数とありますが、各学年とも最低回数以上食べていただきたいという数字が示してあります。

4 各学校の年間給食予定回数及び予定給食費ですが、現在、各学校に予定回数等を調査しておりますので、調査が完了次第、正しい回数を入れさせていただきます。

5 給食費についてですが、中学校給食は食数に応じて単価方式を採用しており、単価は、引き続き300円を予定しております。

(2) の給食費の徴収については、ゆうちょ銀行の口座振替で納入していただいております。引き落としは、例年、5月から2月までとなり、4月分、5月分については、ゆうちょ銀行での手続き期間を要する関係から、5月に2ヶ月分をまとめて引き落としをさせていただきます。なお、給食費は、5,600円を一律に納付いただき、2月時点で、給食回数に応じた金額を算定し、精算する形になります。2月はほとんどの学年が、5,600円以下の金額になると思います。また、3月の引き落としは、未納の方を対象に再度引き落としをさせていただきます。なお、1回10円の引き落とし手数料は、保護者の方の負担でお願いしております。

3 ページ(4) 未納対策について詳細に記載しました。特徴的な項目として②の生活保護世帯の未納者対策です。生活保護世帯は、生活保護費から教育扶助として支給されておりますが、未納が多いのが現状です。生活支援課としても、自立を促す意味でも、本人に責任をもって金銭管理をさせるよう、一旦、保護費は本人口座に振り込むことを原則としていますが、場合によっては、保護者からの同意を得た上で、生活支援課から学校長口座へ直接入金する学校長による委任受領も行います。

さらに③においては、過年度分の児童手当からの引き落としについても記載しましたが、児童手当については、年4回の支給であるため、現年度の給食費よりも過年度分の一括支払いを考えております。但し、この場合も、保護者の同意が必要なことや、支給システムの事務処理手続きも発生することから、関係課と事前に十分な調整が必要です。

次に7 献立作成につきましては、特徴的な部分を説明させていただきます。(2) のアレルギーへの対応につきましては、27 年度より、乳製品の返金につきましては、医師の診断に基づき、牛乳及びミルクコーヒーの飲用牛乳の不食者に対して返金をさせていただいており29年度も継続します。

(3) は、安全な食材料を使用し、手作りにこだわる給食について記載させていただきました。

(4) 給食では、衛生管理を徹底することから、生野菜は出しておりません。必ず加熱を行いますが、サラダについても、加熱後すみやかに冷却するなどして教室で美味しく食べてもらえるよう工夫いたします。

(5) ～ (7) は、地場産農産物や小平市の特産品、行事食などを取り入れながら食育の推進を図ってまいります。

8 衛生管理ですが、給食では、まずは安全を徹底いたします。食材の温度管理、調理器具の消毒などの強化を図ります。(3) では、現在ノロウイルスによる食中毒が問題になっておりますが、ノロウイルスは、加熱により死滅することから、食品は、85度で90秒以上加熱することとし、中心温度計による測定を引き続き徹底してまいります。また、調理従事者の腸内細菌検査、薬剤師会や保健所による衛生管理指導

に従い、衛生管理の徹底を図ってまいります。

9 食の安全及び食育ですが、

(1) 給食食材の予定産地を引き続きホームページで公開していくほか、(2) 放射能検査も継続して実施いたします。

(3) では、毎日の給食時間の放送資料、給食センターのホームページ、メールマガジンも更に充実させていきます。

(4) 学校での食育授業について、栄養教諭を中心に積極的に各学校へ働きかけを行い、食育の推進を図ります。

(5) アレルギーのある生徒に対しては、「小平市立小・中学校における食物アレルギー対応方針」に基づき、学校と連携しながら対応に取り組んでまいります。

(6) 毎学期残食調査を実施し、生徒の嗜好を把握しながら、残食量の減量に努めてまいります。

(7) はセンター方式の給食では、学校と調理現場が離れているという課題がありますので、生徒の食への関心を高めるよう、給食訪問等の機会を捉えて、食育や栄養指導を行ってまいります。

(8) は、生徒の職場訪問ですが、生徒が直接調理場内に入ることはいくつかの課題がありますが、給食センターを見学し、調理の工夫や苦労等について話を聞くことで、給食への理解が図れるものと考えております。また、保護者の方へは、試食会等を通じて、学校給食への理解を深めてまいりたいと考えております。

10 その他については、事務的なことですので説明を省略いたします。

説明は以上になります。本日、ご審議いただき決定をしていただきますと、3月の教育委員会定例会に報告したのち、各学校長宛にお送りいたします。よろしくお願いいたします。

委員長 本件につきまして、何かご意見やご質問はありますか。

委員長 食育についてですが、本校で栄養摂取に関すること及び残菜を減らすための授業を検討しているが栄養教諭等の協力は得られるか。依頼する場合はどれ位の期間をみるべきか。

所長 今年度の当初に各校へ食育授業の実施を働きかけた。現在のところ7校で前年度から発展する形での食育活動ができました。平成29年度も引き続き各校で食育授業等の活動を行っていきたい。ぜひ協力させていただきたい。

栄養士 特に期間は決まっていないが、一か月前に依頼いただければ対応可能である。

所長 補足ですが今年度から残菜調査の方法を変更した。これまで学校単位で計量していたが、各校のクラス単位で計量するよう変更した。

また、試験的に牛乳を提供しない日に残食の状況がどのように変化するか調査も行った。これまで把握していなかった傾向が見えてきたので今後も調査を継続したい。

委員長 そのような取り組みは、ぜひ中学校給食実施計画にも記載してもらいたい。

委員 中学校では1年生から3年生まで同じ配食量と聞いて驚いている。自分の子は3年生で学年の3分の2が男子生徒である。いつも給食が足りないと言っているが、男女の人数や1年生から3年生までの体格差等を考慮して配食されているか。

所長 学校から給食担当教諭や献立作成委員会等でパスタの麺を増やして欲しい等の要望をいただくと可能な限り配慮して配食している。基本的には栄養摂取基準は820キロカロリーで統一されており、基準に基づく配食を行っている。しかし一方で1年生と3年生では平均身長・体重で大きな違いがあるのも事実である。今年度からクラス別、学年別の残食調査を始めているので、その結果も踏まえ可能な限り配慮していきたい。

委員 残食調査の結果についてグラフなどの読みやすい形にして生徒の目に触れるようにしてはいかがか。小学校ではクラスごとに残食コンテストのような全部食べきったクラスを表彰するような取り組みが行われていた。子どものやる気を引き出して残さず食べる意識が育成されているように感じた。中学校でどこまで出来るか不明だが残食調査の結果を生徒に伝えていくべきである。

所長 多摩地区では残食の少ない学校やクラスを表彰するような取り組みを行っている共同調理場もある。生徒に楽しい気持ちを持ってもらいながら残食を減らす取り組みは必要であると考えます。検討させていただく。また、残食調査の結果については献立表又は食育の授業等の機会を捉え生徒に伝えていけるよう検討していきたい。

委員長 その他、質問はございませんか。特に無ければ、平成29年度中学校給食実施計画は、このとおり承認したいと思います。

その他、事務局より何かありますか。

所長 地場農産物の取組みとして「小平冬野菜煮だんご」の小・中学校統一献立を提供しました。新聞社の取材もあり地場農産物の取組みについてPRする機会となりました。

また、平成29年成人式において「なつかしの給食」として揚げパンと牛乳を新成人に抽選で提供しました。これは新成人で構成する成人式実行委員会からの依頼を受けて実施したものです。調理作業は給食調理委託業者、パンは市内のパン製造会社、牛乳は群馬の牛乳製造会社にそれぞれ提供いただきました。皆さんに喜んでいただきましたが、特に新成人である実行委員からは立案した企画が実現したことで大変喜んでいただきました。

その他にですが、小平市では学校給食で地場農産物を積極的に導入しており、都内

でもトップクラスの導入率を誇っております。新聞でも取り上げられるなど注目を集めております。導入率が高い理由ですが、まずJAが一括で窓口となり市内農家を取りまとめる供給体制を構築している点があります。また、栄養士とJAや農家が積極的に野菜の使用量や種類に関する情報交換を行っている点もあります。今後も引き続き地場農産物の導入を図り、食育にも活かしつつ安全・安心な給食提供に努めたいと考えております。

委員長 このことについて何か質問はありますか。

委員 以前に市内農地に行く機会があり農家の人からトウモロコシ畑を紹介される際に給食に提供する予定が合わず旬を過ぎてしまったと聞いた。献立の日程を組んでいる事情もあるかと思うが、ぜひ農産物の旬に配慮していただきたい。

所長 現在も農家と情報交換を行いながら、量なども含め全面的に受け入れる形で地場農産物の導入を進めている。収穫時期の情報交換も行っているところですが、今後も旬に配慮していきたい。

委員 関連では無いのですが、これまでの運営委員会では会議要録について事前に委員へ校正が回っていた。回ってきていないので回してほしい。前回の自分の発言のニュアンスが意図したものと違っていた。

所長 私の事務処理手続きの不備で申し訳ございません。今後は校正確認について不備の無いよう行ってまいります。誠に申し訳ございませんでした。

委員長 手続きは手続きとしてしっかりやっていただくようお願いします。
その他に何かございますか。

所長 立川市において発生した学校給食に起因する集団食中毒に関してご報告いたします。現段階では食材や調理員からノロウイルス等が検出されたということではないので食中毒の疑いがあるという段階です。2月17日の深夜に嘔吐・下痢の児童が発生し、翌日に調理場内の立ち入り検査等が行われました。現在は体調不良の児童からも検体を採取し検査を行っている。結果が出るまでは暫く時間が掛かりそうです。

小平市と立川市の共同調理場は同じ調理委託業者のため情報収集に努めているところです。調理員85名のノロウイルス検査の結果は全員陰性でした。小平市としては原因が判明していない状況なので引き続き情報収集に努めているところです。

立川市は平成25年度に新しいセンターに建替えており、衛生管理基準ではトップクラスの施設となっています。その様な施設から食中毒が発生することは考えにくいので、調理場以外から提供される食材が原因ではないと推察されますが、いずれも不明な点が多いので引き続き情報収集に努めてまいります。

委員長 何か質問はありますか。

委員 小平市では起きないように注意していただきたい。

委員 「飛び魚」と「うど」の展示ありがとうございました。生徒に紹介するのにホームページ等で資料も掲載していたので便利だった。生徒にも好評だった。

所長 食育活動の一環として「飛び魚」と「うど」の展示を各校で行いました。「うど」は市内の地場農産物ですが、「飛び魚」は東京都内の地場産物という観点から八丈島で採れた「飛び魚」を丸ごと1匹ずつ各校で展示したものです。「飛び魚」は業者から無償提供されたものです。給食では「飛び魚のつみれ汁」や「明日葉の和え物」を提供し東京都の地場産物についてPRしました。「うど」についてもJAより無償で提供いただいております。

委員長 その他、質問はございませんか。

それでは通してですが、第1回では委員よりアレルギーの生徒に対する返金対応について、牛乳・ミルクコーヒーに係る返金対応だけでなく不食の生徒への弾力的な返金対応をするよう意見がありました。第2回では委員より建替えの説明が不足しているとの意見がありました。来年度は同様のことを指摘されないよう気をつけていただきたいと思います。

それでは以上を持ちまして第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。